

2014年度 公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針  
会員交流委員会 委員長 谷口 直満

我々乙訓青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現に向けて青年会議所運動に取り組んでいます。本年度に35周年を迎えるにあたり乙訓青年会議所を更に、発展させる為にも、一致団結してより一層の結束力を高めなければなりません。その為には、「不動心、未来への原動力となれ」の精神を持って組織の活性化へと繋げると共に、地域の発展にも繋げる事が重要です。

会員交流委員会の担いは、メンバー同士が互いに切磋琢磨し、本音で語り合い、友情を深めて一枚岩となって青年会議所活動に邁進出来る組織を目指します。様々な交流を通して思いやりの心と感謝の心を持って行動する事を学び、思いやりを伝える事により、今まで以上の信頼関係を築き上げ、絆を深める事で、自然と相手を敬いながら共に活動し共通の理念の達成を目指す先導役であると考えます。

本年度、会員交流委員会が担当させて頂く1月例会では、我々乙訓青年会議所が向かうべき方向性を出席者全員に認識させて頂くと共に、35周年を迎えるにあたり、感謝の気持ちを持ち、意気込みも新たにスタートして頂ける例会を開催致します。新春交歓会ではご参加頂く行政関係者、特別会員、他LOMの皆様と新春の挨拶を交わし、交流を通しておもてなしの心を感じて頂くと共に、メンバー全員に本年度も共に活動出来る事に感謝の気持ちを持って頂ける場と致します。8月例会では各委員会が掲げられた方針を再認識し、最後まで全力でやり遂げる意気込みをメンバー全員に伝えて頂ける例会を開催致します。納涼会では、これまでの活動に対し委員会メンバーと出会えた事に感謝の念を持って労を労い、8月以降も各委員会が、相手を思いやる気持ちを持って頂ける交流の場を設え致します。卒業式では、卒業生の青年会議所活動における功績を称え、新たな門出をお祝いすると共に心に残る卒業式を行います。忘年会では1年間の活動を互いに称え合い、次年度へ向けて新たな気持ちを持って更なる友情を育みます。会員交流会では、各委員会内で交流を行うと共に、メンバー同士の絆の構築を図り信頼関係を深めて頂きます。また、特別会員との親睦も全力でサポートして参ります。そして、同室である会員拡大委員会と協力し、積極的に会員拡大活動に取り組むと共に、青少年育成活動やまちづくり活動に携わり、35周年に向けて35周年特別委員会と連携を図り率先して参加、協力致します。

最後に会員交流委員会では、まず委員会メンバーに青年会議所活動の楽しさを知って頂く為にも、まず、私自身がメンバーの皆様と明るく楽しく接し、相手の立場を思いやり尊重する心を持って行動する姿を先頭に立って見せると共に、委員会メンバーとの絆をしっかりと構築致します。また、各事業に委員会メンバー全員で積極的に参加し、率先して交流を図る事でメンバー全員が一枚岩となり乙訓青年会議所全体の向上に繋がると信じて一生懸命活動に取り組んで参ります。